

平成21年度

消費生活相談の概要

平成21年度に岡山県消費生活センターに寄せられた相談件数は10,268件で、前年度に比べ、1,578件（13.3%）減少しました。その主な要因は、はがきやインターネット等による不当（架空）請求に関する相談が前年度に比べ721件（25.9%）減少したことです。特に、放送・コンテンツ等における不当（架空）請求に関する相談の減少が顕著です。

不当（架空）請求以外に関する相談件数は、前年度に比べ857件（9.5%）減少しました。

預貯金・証券等に関する相談が14件（8.0%）増加して189件となっています。そのうち「未公開株」に関する相談が43.9%を占めていて、高齢者（60歳以上）の相談が69.3%を占めています。

1 相談件数及び内容

順位	相談内容	件数			備考
		H21年度	H20年度	H19年度	
1	放送・コンテンツ等	1,852	2,548	3,342	インターネット、携帯電話での有料サイト利用など
	うち不当（架空）請求	1,525	2,224	2,951	
2	商品一般	811	806	1,503	商品を特定できない不当（架空）請求など
	うち不当（架空）請求	474	453	1,161	
3	融資サービス	614	1,047	1,254	多重債務など
	うち不当（架空）請求	62	105	185	
4	レンタル・リース・貸借	527	521	497	賃貸住宅など
5	役務その他	330	345	274	氏名広告など
6	工事・建築・加工	317	308	300	リフォーム・新築工事など
7	自動車	240	243	280	
8	家具・寝具	190	207	194	
9	預貯金・証券等	189	175	183	
10	理美容	183	266	93	
	その他	5,015	5,380	5,935	
	不当（架空）請求	2,061	2,782	4,297	—
	不当（架空）請求以外	8,207	9,064	9,558	—
	合計	10,268	11,846	13,855	—

2 年代別相談件数

年代	平成21年度		平成20年度	
	件数	割合（%）	件数	割合（%）
20歳未満	354	3.4	453	3.8
20歳代	1,264	12.3	1,543	13.0
30歳代	1,660	16.2	2,016	17.0
40歳代	1,475	14.4	1,842	15.6
50歳代	1,229	12.0	1,490	12.6
60歳代	1,218	11.8	1,300	11.0
70歳以上	1,623	15.8	1,729	14.6
不明	1,445	14.1	1,473	12.4
合計	10,268	100.0	11,846	100.0